

# 愛知県感染症情報

AICHI Infectious Diseases Weekly Report

2010年40週 (10月1週10/4~10/10)

2010年9月報

愛知県感染症情報センター(愛知県衛生研究所内)

<http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/kansen.html>

E-mail: [eiseiken@pref.aichi.lg.jp](mailto:eiseiken@pref.aichi.lg.jp)

連絡先: 052-910-5619(企画情報部)

## 今週の内容

### トピックス

腸管出血性大腸菌感染症、RSウイルス感染症、結核

### 定点医療機関コメント

感染性胃腸炎、マイコプラズマ、RSウイルス感染症、インフルエンザ、流行性耳下腺炎等

全数把握感染症発生状況 ( )内は件数。

結核(33)、腸管出血性大腸菌感染症(9)、レジオネラ症(3)、アメーバ赤痢(1)、劇症型溶血性レンサ球菌感染症(1)、後天性免疫不全症候群(14)、梅毒(2)

2010年9月報

定点把握感染症報告数(保健所別、年齢別)

「グラフ総覧」は <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/graph.pdf>

## トピックス

### 腸管出血性大腸菌感染症(図1)

41週までの診断週別累積報告数(無症状病原体保有者含む、10月13日現在)は213例(2009年同時期は177例)です。HUS発症例の2010年40週累計は9例(0~5歳5例、5~9歳2例、20歳代1例、60歳代1例)と、2009年総計4例(0~5歳3例、60歳代1例)の2倍を超えています。

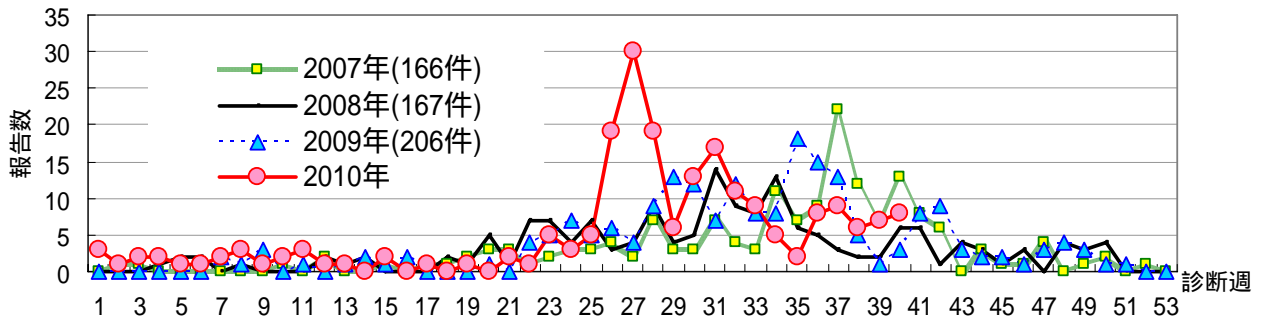


図1 腸管出血性大腸菌感染症診断週別発生状況  
(愛知県、無症状病原体保有者含む、2007年1週~2010年40週、10月13日現在)

### 【全国の発生状況】腸管出血性大腸菌感染症発生状況(速報)第39週

<http://idsc.nih.go.jp/disease/ehc/2010prompt/39wEHEC.pdf>

### RSウイルス感染症

40週の定点当たり報告数は0.29、39週52人、40週53人です。

### 結核(図2)

2010年9月の報告数は178例(うち無症状病原体保有者43例)、2010年累計(1~9月診断分)は1,498例(同245例)です。2009年1~9月診断分は1,617例(同267例)、2009年総計は2,068例(同341例)でした。

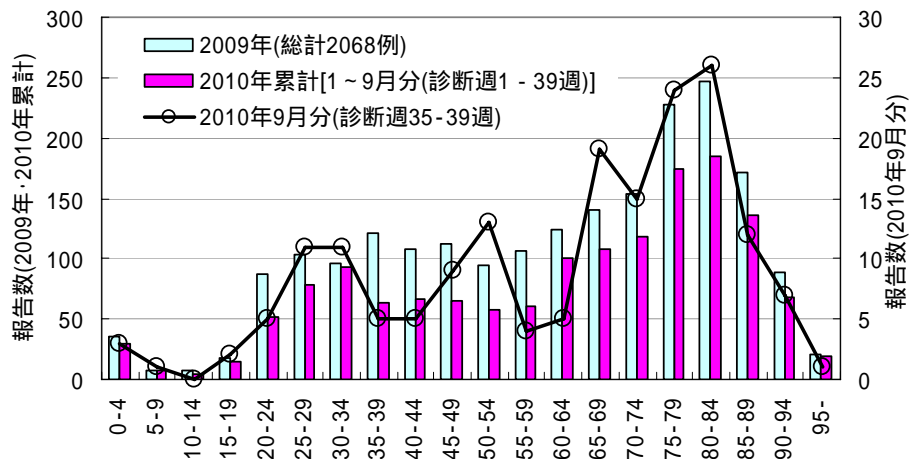


図2 結核の年齢階層別報告数(愛知県、無症状病原体保有者含む)

定点医療機関コメント(名古屋市除く)

尾張西部地区

マイコプラズマ感染症 1名。

【一宮市 ささい小児科】

インフルエンザA型、B型1名ずつ。

【一宮市 一宮市立市民病院】

マイコプラズマの流行が続いていますが、RSウイルスや肺炎球菌も混在している様です。

【犬山市 武内医院】

水痘、手足口病の小流行続いています。

【江南市 みやぐちこどもクリニック】

全体的におちついています。

メタニューモウイルスもほとんどみられません。

【岩倉市 なかよしこどもクリニック】

4歳女 病原大腸菌(O18)検出。

ヘルパンギーナ、ムンプス散発です。

【清須市 丹羽医院】

尾張東部地区

カンピロバクター腸炎、病原大腸菌(O153) 5歳女。

【瀬戸市 津田こどもクリニック】

今週もヘルパンギーナが数例みられました。

感染性胃腸炎O6 6か月男。

その他、水痘、突発疹。

少し忙しくなってきました。

【尾張旭市 医療法人誠和会佐伯小児科医院】

溶連菌感染症が出始めました。

ヘルパンギーナもボチボチいました。

【豊明市 こども元気クリニック】

ムンプス続発中。

【春日井市 朝宮こどもクリニック】

今季初めてのインフルエンザB兄弟例あり。その他RS感染、溶連菌感染症が目立ちます。生後4か月のサルモネラ腸炎1例。

【小牧市 志水こどもクリニック】

特記事項なし。

【春日井市 春日井市民病院】

31歳女 百日咳 320倍

【半田市 医療法人林医院】

手足口病は手足以外にも発疹のある症例が目立ちました。

夏かぜウイルスによる発疹と思われる症例(全身に発疹散在、一部水疱あり)が数例ありました。

【東海市 もしもしこどもクリニック】

13歳女 病原大腸菌 O25(+)

【大府市 まえはらこどもクリニック】

西三河地区

StrepA(+ ) 5歳女、4歳男、6歳女

マイコプラズマ肺炎 9歳男

【豊田市 星が丘たなかこどもクリニック】

マイコプラズマ 2人

【豊田市 すくすくこどもクリニック】

特に目立った流行はありません。

【岡崎市 花田こどもクリニック】

特記すべきことありません。

【岡崎市 竜美ヶ丘小児科】

8か月女 病原性大腸菌O125

【岡崎市 医療法人川島小児科水野医院】  
ムンプスが少し流行しています。

【みよし市 みよし市民病院】

病原大腸菌 O25 1歳女

【西尾市 やすい小児科】

アデノウイルス感染症 4歳男、5歳男、5歳男

【幸田町 とみた小児科】

東三河地区

病原性大腸菌O153、カンピロバクター 7歳女  
病原性大腸菌O1 VT(-)、カンピロバクター  
11歳男

カンピロバクター 11歳女

カンピロバクター 7歳男

カンピロバクター 1歳男

病原性大腸菌O6 9か月男

病原性大腸菌O128 4歳男

【豊川市 ささき小児科】

プール熱8例(家族内感染以外は散発)。

【蒲郡市 鈴木小児科医院】

全数把握感染症発生状況（愛知県全体・保健所受理週別）2010年10月13日現在

一～三類感染症

<関連リンク> 届出基準 <http://www.pref.aichi.jp/eiseiken/2f/todokedeki jun100311.pdf>

結核（二類感染症）

報告保健所	2010年40週報告数			2010年累計(1～40週)		
	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲	総数	喀痰塗抹検査陽性者数再掲	無症状病原体保有者再掲
名古屋市(16保健所合計)	24	7	3	690	196	124
豊田市				61	16	16
豊橋市				53	15	9
岡崎市				58	23	8
一宮	3	1		85	28	9
瀬戸				101	20	20
半田				40	12	2
春日井	3	2		83	28	11
豊川				47	15	10
津島				71	21	8
西尾				40	12	
江南				30	7	2
新城				8	2	2
知多	2	1	1	71	27	20
師勝				27	9	1
衣浦東部	1	1		79	32	12
合計	33	12	4	1,544	463	254

腸管出血性大腸菌感染症（三類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	発病月日	初診月日	診定月日	備考
1	名古屋市	35歳	女	- / -	10 / 8	10 / 8	O157、VT2(+) 無症状病原体保有者
2	名古屋市	16歳	女	- / -	9 / 27	10 / 4	O157、VT1(+) VT2(+)
3	名古屋市	6歳	男	9 / 30	10 / 2	10 / 6	O26、VT1(+)
4	岡崎市	4歳	女	9 / 27	9 / 29	10 / 5	O157、VT2(+)
5	瀬戸	2歳	男	9 / 25	9 / 28	10 / 1	O157、VT1(+) VT2(+)
6	瀬戸	75歳	男	9 / 28	9 / 29	10 / 4	O157、VT1(+)
7	瀬戸	35歳	女	10 / 6	10 / 5	10 / 8	O157、VT1(+) VT2(+)
8	津島	8歳	男	10 / 5	10 / 6	10 / 8	O157、VT1(+) VT2(+)
9	西尾	5歳	男	10 / 3	10 / 4	10 / 9	O157、VT2(+)

四類・五類感染症（全数把握）（推定感染経路、推定感染地域は確定も含む）

レジオネラ症（四類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染地域
1	瀬戸	64歳	男	肺炎型	国内
2	春日井	53歳	男	肺炎型	国内
3	津島	67歳	女	肺炎型	国内

アメーバ赤痢（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	豊田市	61歳	男	腸管アメーバ症	不明	国内

劇症型溶血性レンサ球菌感染症（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	推定感染地域
1	豊田市	90歳	男	国内

後天性免疫不全症候群（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	36歳	男	A I D S	性的接触	国内
2	名古屋市	40歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
3	名古屋市	24歳	女	無症候性キャリア	性的接触	タンザニア
4	名古屋市	34歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
5	名古屋市	36歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
6	名古屋市	41歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
7	名古屋市	51歳	女	無症候性キャリア	性的接触	国内
8	名古屋市	56歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
9	名古屋市	65歳	男	A I D S	性的接触	国内
10	名古屋市	44歳	男	A I D S	性的接触	国内
11	名古屋市	21歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
12	名古屋市	33歳	男	無症候性キャリア	性的接触	国内
13	名古屋市	61歳	男	A I D S	性的接触	国内
14	名古屋市	29歳	女	A I D S	性的接触	ブラジル

梅毒（五類感染症）

番号	報告保健所	年齢	性別	病型	推定感染経路	推定感染地域
1	名古屋市	24歳	男	早期顕症	性的接触	国内
2	春日井	83歳	男	無症候	性的接触	国内

## 9月の一～五類感染症(全数把握対象)発生状況〔( )は無症状病原体保有者再掲。〕

2009～2010年に報告のあった 疾病名及び病型 ( )内は全数把握対象疾病数		2010年9月			2010年 累計 <愛知県全体>	2009年 総計 <愛知県全体>
		愛知県 (名古屋市除く)	名古屋市	愛知県全体		
一類 (7)	発生報告なし	0	0	0	0	0
二類 (5)	結核	100 (29)	78 (14)	178 (43)	1,498 (245)	2,068 (341)
三類 (5)	コレラ	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	1 (0)
	細菌性赤痢	0 (0)	0 (0)	0 (0)	4 (0)	13 (0)
	腸管出血性大腸菌感染症	28 (3)	4 (0)	32 # (3)	204 (44)	206 (53)
	腸チフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	2 (0)
	パラチフス	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	3 (0)
四類 (41)	E型肝炎	0	0	0	2	2
	A型肝炎	2	0	2	12	5
	オウム病	0	0	0	4	1
	つつが虫病	0	0	0	0	5
	デング熱	1	3	4	15	6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	1
	ブルセラ症	0	0	0	1	0
	マラリア	0	0	0	1	0
	ライム病	0	0	0	0	1
	レジオネラ症	4	0	4	31	47
五類 (14)	アメーバ赤痢	2	1	3	40	55
	ウイルス性肝炎	0	1	1	10	17
	内訳 B型	0	1	1	10	11
	内訳 C型	0	0	0	0	6
	急性脳炎	0	0	0	6	35
	クロイツフェルト・ヤコブ病	0	0	0	6	8
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	0	0	0	7	10
	後天性免疫不全症候群	1	11	12	107	86
	内訳 無症候性キャリア	0	6	6	61	43
	内訳 AIDS	1	5	6	39	32
	内訳 その他	0	0	0	7	11
	ジアルジア症	0	0	0	1	1
	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	1	1
	先天性風しん症候群	0	0	0	0	1
	梅毒	3	1	4	43	46
	内訳 無症候	2	0	2	17	19
	内訳 早期顕症	1	1	2	23	26
	内訳 晩期顕症	0	0	0	3	1
	内訳 先天梅毒	0	0	0	0	0
	破傷風	1	0	1	3	5
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	0	1	1
	風しん	0	0	0	3	10
	麻しん	2	0	2	16	29
	総計	144	99	243	2,016	2,666

#; O26; 2件、O111; 1件、O157; 27件、O血清型不明; 2件

五類感染症(月報定点把握対象)発生状況

	疾病名	2010年9月			2010年 累計	2009年 総計
		愛知県 <small>&lt;名古屋市除く&gt;</small>	名古屋市	愛知県 全体	愛知県 全体	愛知県 全体
性 感 染 症 定 点	性器クラミジア	86	57	143	1,295	1,695
	性器ヘルペスウイルス感染症	35	16	51	472	631
	尖圭コンジローマ	11	15	26	269	447
	淋菌感染症	36	50	86	613	692
基 幹 定 点	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	69	19	88	917	1,090
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	5	8	13	177	146
	薬剤耐性緑膿菌感染症	0	0	0	0	5

感染症の類型及び定義(感染症法)

類型	定義
一類感染症 (7疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が極めて高い感染症。患者、疑似症患者及び無症状病原体保有者について入院等の措置を講ずることが必要。
二類感染症 (5疾病)	感染力、罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性が高い感染症。患者及び一部の疑似症患者について入院等の措置を講ずることが必要。鳥インフルエンザ(H5N1)が平成20年5月12日の法改正により従前の四類感染症鳥インフルエンザから除かれ、二類感染症に追加された。
三類感染症 (5疾病)	感染力及び罹患した場合の重篤性等に基づく総合的な観点からみた危険性は高くないが、特定の職業への就業によって感染症の集団発生を起こしうる感染症。患者及び無症状病原体保有者について就業制限等の措置を講ずることが必要。
四類感染症 (41疾病)	動物、飲食物等の物件を介して人に感染し、国民の健康に影響を与えるおそれがある感染症(人から人への伝染はない。媒介動物の輸入規制、消毒、物件の廃棄等の物的措置が必要。)
五類感染症 (41疾病)	国が感染症の発生動向の調査を行い、その結果等に基づいて必要な情報を国民一般や医療関係者に情報提供・公開していくことによって、発生・まん延を防止すべき感染症。
新型インフルエンザ等感染症 (2疾病)	インフルエンザのうち当該感染症に対する免疫を獲得していないことから、生命及び健康に重大な影響を与えるおそれのあるもの。新型インフルエンザ(新たに人から人に伝染する能力を獲得したウイルスによるもの)及び再興型インフルエンザ(かつて世界規模で流行したウイルスによるもの)が平成20年5月12日に指定された。
指定感染症	既知の感染症(一～三類及び新型インフルエンザ等感染症を除く)のうち、一～三類感染症と同程度の危険性を有し、それらに準じた措置を実施しなければ、国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあるもの。一年間に限定した指定。
新感染症	人から人に伝染すると認められる疾病であって、既に知られている感染性の疾病とその病状又は治療の結果が明らかに異なるもので、当該疾病にかかった場合の病状の程度が重篤であり、かつ、当該疾病のまん延により国民の生命及び健康に重大な影響を与えるおそれがあると認められるもの。

愛知県感染症情報

2010年40週(2010年10月4日～2010年10月10日)

愛知県衛生研究所

	定点数					RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
	インフルエンザ	小児科	眼科	STD	基幹																		
愛知県 (保健所別)																							
愛知県 (名古屋市含む)	195	182	35	52	17	53	10	35	119	498	89	108	21	93	4	55	104	0	10	0	0	4	0
総数 (名古屋市を除く)	125	112	24	37	12	35	5	19	84	343	71	75	17	69	2	24	76	0	10	0	0	0	0
名古屋市(16保健所)	70	70	11	15	5	18	5	16	35	155	18	33	4	24	2	31	28					4	
瀬戸	9	9	2	3	1				7	49	5			8		8	1						
津島	7	7	2	2	1				3	51	3		1	6			19						
師勝	4	4	1	1					2	3	1	1				1	2						
一宮	16	12	3	4	1	9	2	1	4	25	6	6	1	5		1	13		2				
春日井	9	9	2	3	1	15	2		14	21	8	19	1	4	1	2	8		2				
江南	6	6	1	2		2		3	4	21	5	7	3	4		4	1		2				
半田	6	6	1	2	1				6	23	8	15	2	5	1	2	1						
知多	7	7	2	2		2		2	7	17	1	6		1		2	3						
岡崎市	11	7	2	2	1				11	4	17	1		5			4						
衣浦東部	13	13	2	4	1	1	1	2	8	38	5	8	2	5		1	6		1				
西尾	5	5	1	2	1				3	8	1	4	3	2				1					
豊田市	9	9	2	4	1	5			7	37	2	3	2	10		2	6						
豊橋市	12	8	2	4	1	1		2	3	13	6	4	1	10		1	4						
豊川	9	8	1	2	1			8	5	33	3	1	1	4			6		2				
新城	2	2			1			1									2						

\*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告

愛知県感染症情報

2010年40週(2010年10月4日～2010年10月10日)

愛知県衛生研究所

年齢階層 (名古屋市を除く)	RSウイルス感染症	*インフルエンザ (鳥インフルエンザ及び エンザ等感染症を除く。)	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎 (オウム病を除く。)
計	35	5	19	84	343	71	75	17	69	2	24	76	0	10	0	0	0	0
～6ヶ月	6				6		1		1					1				
～12ヶ月	3		2		47	1	11		25		1	1						
0歳																		
1歳	14		3	1	55	23	26	1	38		10	9						
2歳	5	1	1	5	35	9	15	2	5		2	4						
3歳	4	1	4	5	27	12	7	3			5	8						
4歳	1		3	13	22	15	5	5			2	10						
5歳	1		3	9	25	5	2	3			1	19		1				
6歳	1		3	16	15	1	2	2		1	1	9						
7歳				5	16	2	1					6						
8歳				7	7	2	2				1	5						
9歳				6	9			1				1						
5歳～9歳																		
10歳～14歳				10	34	1	1				1	3						
15歳～19歳				2	4									1				
20歳～				5	41		2			1		1						
20歳～29歳		1												6				
30歳～39歳		1																
40歳～49歳																		
50歳～59歳														1				
60歳～69歳		1																
70歳～																		
70歳～79歳																		
80歳以上																		

\*新型インフルエンザ(A/H1N1)を合わせた報告